

令和元年度事業計画

【活動方針】

日本経済は安定的に成長してきたものの、米中貿易摩擦、中国経済の減速、ブレグジット問題など海外リスクや人手不足と消費税引き上げなどの国内リスクもあり、不透明感が増してきている。

また、国内では将来的に少子高齢化が経済成長を制約する要因となりえることから、女性や高齢者の参画や外国人の受け入れなど多様な労働力参加の促進を図り AI、IoT などの活用による生産性の向上により潜在成長率を高めていくことが急務と考えられる。

地方においては、これまで以上に人口減少対策や地域経済の活性化にむけた「地方創生」の取組みを実効性のあるものとしていかなければならない。

本県においても、鳥取県ならではの地域資源を活かした「鳥取県元気づくり総合戦略」も最終年度を迎えるが、産学官金労言が一体となって取り組む必要がある。人口減少克服と地方創生を実現するため地域人材の育成や環流を図る仕組み、女性・高齢者などの潜在的労働力の活用、持続可能なまちづくりと活性化について様々な提言や活動を行うことで地域のオピニオンリーダーとしての役割を果たしていく必要がある。

今年10月には鳥取県で第117回西日本経済同友会会員合同懇談会が開催される。積極的な参加のもと中部、西部と連携を図りながら一丸となって取り組んでいく。

以上のような認識に立ち令和元年度においては、次の事業に重点的に取り組んでいくとともに、各委員会は各テーマに沿った内容で活動を行う。

【令和元年度の具体的な取り組み事項】

1. 月例会、7委員会による積極的な活動と政策提言
2. 行政機関、友好経済団体等との連携と広域交流活動の推進
3. 各地区で開催される経済同友会合同懇談会、ブロック大会等への積極的参加
 - ◇ 第32回全国経済同友会セミナー（新潟市）
平成31年4月11日（木）～12日（金）

- ◇ 第6回西日本経済同友会代表者会議（大阪市内）
令和元年7月18日（木）
- ◇ 第117回西日本経済同友会会員合同懇談会（米子市）
令和元年10月11日（金）～12日（土）
- ◇ 全国経済同友会代表幹事円卓会議（大津市）
令和元年10月28日（月）
- ◇ 第12回日本海沿岸地域経済同友会代表幹事サミット（秋田市）
令和元年10月31日（木）～11月1日（金）
- ◇ 第27回岡山・鳥取県経済同友会合同懇談会（倉吉市）
令和元年11月19日（火）
- ◇ 第46回島根・鳥取県経済同友会合同懇談会（島根県）
（開催時期未定）

4. 「地方創生」（移住定住、人口減対策等）にかかるさまざまな視点からの研究と提言
5. 高速交通基盤の整備促進と観光振興について
 - ①鳥取西道路：青谷 IC～鳥取西 IC 間の全線開通による、鳥取自動車道と山陰自動車道の一体化を活かした産業と観光振興策の検討
 - ②南北線を含む山陰近畿自動車道の早期整備への働きかけの活動強化
 - ③鳥取砂丘コナン空港及びその周辺の利用促進への提言
 - ④ナイトエコノミー活性化の具現化に向けた対応
6. 東部圏域と岡山・但馬圏域との連携による観光促進
7. 現地探索による地元地域の魅力再発見及びその活用策の提言
8. 組織運営（財政基盤の強化）会員増強拡充運動と情報活動の充実強化

【委員会活動】

各委員会のテーマ・活動内容について活発な委員会運営を進める。

委員会名	委員長名	テーマ・活動内容
総務委員会	谷田貝 憲一	・委員会の運営や会勢の拡大など当会活動の活性化を目指した会務全般の遂行 ・アワード（表彰）制度の継続 ・広域的な課題に対する他地域同友会との連携による提言活動のを展開 ・視察研修（他地域との経済交流を目指す） ・県・市との定期的な懇談会や意見交換会を積極的に進める。
教育文化委員会	水野 治郎	・県内スポーツの振興、発展（スポーツ発展に向けた活動） ・県内文化施設の振興 ・スポーツ施設を活用した人材育成の研究
地域学委員会	吉田 幹男	・テーマに沿い現地探索し、地域を知り「因幡新風土記」づくり ・圏域各地の官民との懇談会や提言などを行うことで地域貢献を図る
広域観光委員会	川本 良則	・広域観光連携の推進 ・外国人観光客対応の観光資源研究と交流推進 ・鳥取砂丘コナン空港の名称を生かした国際線チャーター便定期便の誘致 ・2018 年度提言（ナイトタイムエコノミーの活性化）の具現化に向けた対応 ・観光、国際交流などに関する最新の動向を踏まえ新たな取組みの検討
地域経済活性化委員会	森本 秋衛	・「地販地消」活動の推進による地域経済の活性化を進める ・地域雇用やデジタル化を積極的に進める企業の発掘・紹介
岡山・但馬交流委員会	馬場 進	東部地区が県境を接する岡山県・兵庫県（北部）との連携強化を深める ・岡山経済同友会・神戸経済同友会西播部会並びに但馬部会との合同懇談会の運営等を担当 ・山陰海岸ジオパークの認定、山陰近畿自動車道の整備等を踏まえ、但馬地区との更なる連携強化を図る
移住・定住委員会	林 正人	・移住・定住についての課題研究、提言